地方独立行政法人　新小山市民病院

発行日　2017年6月1日
第 17 号

新小山市民病院ニュースレター

Shin-Oyama City Hospital News letter

1 理事長挨拶　　～断らない救急～

風薫る5月、澄み切った青空を背景に、森の若葉の新緑が白い建物とさわやかなコントラストを描く様は、新小山市民病院が第2回開運のまち『おやま』景観賞　公共の部「景観大賞」に選ばれた理由なのかと想像します。一方では、今日もひっきりなしに救急車のサイレンが辺りに響きわたり、この地区が単に「市民の憩いの場」だけではなく、まぎれもなく地域住民の命を守る「医療最前線」であることを実感するのです。

今年度から新小山市民病院は、小山・下野地区の2次救急輪番当番日として、月、水、土に加えて、日曜日も自治医大と一緒に担当しています。もっとも、救急車搬送状況は、輪番日、非輪番日でも変わらず、総件数は平成25年2671件から平成28年は3801件と年ごとに増加し続けています。

また、脳卒中ホットラインと同じく、急性心筋梗塞なども24時間365日対応できるホットラインを地区医療機関にもオープンしました。これにより、小山市・近郊地区の**循環器救急、脳卒中、吐下血症例**は、常時本院で受け入れられる体制となりました。

さらに、平日小児科の時間外診療も、今までの20:15を22:00までに延長しました。小児科症例の夜間休日診療所からのご紹介についても大幅に改善されるのではないかと思います。

患者支援センターに直接入院要請などで紹介された救急症例も、昨年度は2275件の依頼中2154件とほぼ全例に対応できており、“断らない救急”を合言葉に、職員一同で対応しています。今後ともご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

平成29年6月

新小山市民病院　理事長・病院長　島田和幸

2 TOPICS　防災訓練を行いました

3月25日（土）、防災訓練を実施しました。

今回は、大規模地震を想定し、市内建物が倒壊し多くの負傷者が当院に来たことを想定し、70名ちかくの職員で訓練を行いました。多数の来院した負傷者を、救護班の医師がトリアージし、優先順位を色分けし、ストレッチャーや車椅子で搬送し、担当医師が治療をするといった流れで行いました。その場で意見を出し合い改善しながら何度も訓練を行い、各職種の役割分担をしっかりと確認しました。また、訓練終了後、消防本部のご協力のもと、ドクターヘリによる患者搬送も行われました。ヘリの位置や救急車の停車位置、搬送の仕方などを確認しました。

普段の診療では確認できない、充実した訓練を実施することができました。

目次:

理事長挨拶 1
新任医師紹介 2
新任医師紹介 3
連携室からのお知らせ 4

ハイライト

- 防災訓練を実施し、新たな問題点や改善点を洗い出し、今後の救急医療への体制づくりを目指します
- 3月、4月に着任した新任医師21名をご紹介します

  新たに、脳血管内治療科、形成外科、病理診断科の先生が着任されました。
- 医療連携室からのお知らせ

  分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。

外来診療体制の変更

小児科診療体制の拡大

✧ ４月より医師増員に伴い、平日の二次救急枠の拡大および土曜日の二次救急が再開できる体制となりました。

【平日】 17:15 ～ 22:00
（祝日を除く）
【土曜日】9:00 ～ 17:00
【日曜日・祝日】
従来通り小児輪番病院として対応いたします。

※ ご紹介いただく際は、来院前に連絡をお願いいたします。
《TEL：0285-36-0200》

✧ 専門外来の診療(アレルギー・神経・心臓等)が必要な患者さんや急を要しない患者さんの場合には、予約専用電話で承っております。

予約専用電話
【平日】TEL:0285-36-0254

✧ 緊急を要する患者さんのご紹介の際は、従来通り医療連携室にご連絡ください。
《TEL：0285-36-0252》

紹介患者予約について

✧ １月より、患者さんが来院後、スムーズに診療が受けられるよう、一部の診療科を除き、紹介患者予約を承っております。

✧ 診療科によっては、予約がすぐに入らない状況になっておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

予約専用電話
【平日】TEL:0285-36-0254

※ 消化器内科と泌尿器科については、現在も、外来患者数が多く、予約が開始できない状況になっております。

患者さんには、紹介状を持参し直接 11 時までに来院していただくよう、ご案内をお願いいたします。ご迷惑をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

新任ドクターの紹介

３月・４月採用の新しい医師21名を紹介します。

形成外科
部長
宇田　宏一

この度、新小山市民病院の形成外科新規開設にあたり、平成29年4月より自治医科大学より赴任いたしました 宇田 宏一（うだ ひろかず）です。

これまで約４年間にわたり非常勤として、週2回程度の割合で当院形成外科の診療に携わらせて頂きましたが、これからは私を含めて2名の常勤体制で、自治医科大学形成外科との連携を基盤として、地域医療にこれまで以上に貢献していく所存です。

頭の先から足の先まで、体表を中心として全身を扱う科の特性から、創傷、熱傷、瘢痕、先天異常、顔面を中心とした外傷、皮膚・皮下腫瘍、乳房再建などの悪性腫瘍切除後の再建等、ほとんどの形成外科的疾患の外科手術に対応することが可能です。また、眼瞼下垂などのまぶたの疾患も積極的に取り扱っていくつもりです。

どうぞ皆様、宜しくお願いいたします。

脳血管内治療科
部長
岡田　俊一

この度、新小山市民病院の脳血管内治療科に着任いたしました岡田 俊一（おかだ しゅんいち）と申します。

平成9年鹿児島大学卒業で、卒後５年目に国立循環器病センターのレジデントになって以来、脳卒中急性期診療に携わって来ました。

超急性期の脳卒中の診療に関しては、tPA治療に加え、脳血管内治療（血栓除去術、血管形成術など）や脳保護療法などの専門的治療を積極的に行いたいと思っております。またエビデンスに基づいた脳卒中の予防的治療にも力を入れていきたいです。厳密な病型診断のもと脳血管狭窄症に対してSTENT留置術などを行っていきたいと思います。

質の高い脳卒中医療の提供に邁進する所存ですので、ご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

腎臓内科
部長
吉澤　寛道

平成 29 年 4 月より、新小山市民病院腎臓内科・人工透析科に着任いたしました吉澤 寛道（よしざわ　ひろみち）です。

私は平成 18 年に金沢医科大学を卒業後、平成 20 年に郷里に近い自治医科大学腎臓内科学教室に入局し、腎臓病や透析療法を中心に臨床と研究に励んで参りました。

今や‘慢性腎臓病(CKD)’は成人の８人に１人が持つと言われ、国民病といえるほどに頻度が高い疾患となりました。また慢性腎臓病(CKD)は脳卒中や心血管疾患の独立した危険因子と言われ、早期の発見と治療介入が必要です。

腎臓内科・人工透析科は、慢性腎臓病(CKD)の患者さんの降圧管理や生活習慣改善に重点を置いた診療を行っています。糸球体腎炎やネフローゼ症候群の患者さんに対しては腎生検による組織診断からステロイド・免疫抑制剤を用いた治療まで一貫して行っており、末期腎不全の患者さんに対しては血液透析への導入・維持管理、内シャント狭窄に対する血管内治療(PTA)も行っています。また腹膜透析の維持管理も手掛けています。小山市を中心とした地域の腎臓病・透析医療に貢献できるよう最善を尽くしますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

病理診断科
部長
金井　信行

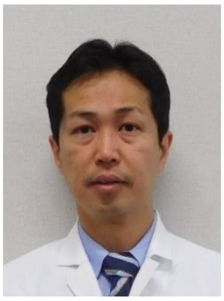
平成29年4月より、新小山市民病院の病理診断科に常勤医として着任しました金井信行です。

自治医大を卒業後、岐阜県の高山赤十字病院初期研修の後、世界遺産(離任後に登録)の白川村での診療所での1人勤務のあと、母校の病理学講座/病理診断部で勉強してきました。卒業生でもあり、病理診断、研究の他、教育に大きな比重をかけ、不出来の医学生を長らく支えてきました。その経験から、一冊で国試範囲を網羅する著書『メディカルインデックス』(医学評論社、昨年3月に第2版)を出版することができ、全国の医学生、医師のみならず、コメディカルの方々からも『医師がどのような教育を受けるのかがわかる』などとの好評をいただいております。

新小山市民病院は非常勤医として、約15年間勤務してきました。病理部門は臨床検査室の一角にあります。以前に大学から、当院に電話をし、『病理お願いします。』といったところ、栄養管理室に電話を回されてしまうほど、院内での認知度も決して高いとはいえません。また当院は、循環器科や神経科といった病理検体をあまり提出しない科が中心となっている病院ですが、それでも、近年検体数は著増しています。外科系の診断治療には必須の領域で、術中迅速診断も気楽に出来るようになり、少し安心して手術ができるとの言葉も頂いています。また、小山地区での病理標本検体なども受け付ける予定でおります。全国的には近年、セカンドピニオンなど、病理診断科として外来も行われているようです。気楽にご連絡(『び』と『り』をはっきりと！)頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。

内科・総合診療科
副部長
鈴木　忠広

消化器内科
副部長
髙橋　治夫



循環器内科
副部長
原田　顕治

循環器内科
副部長
寺田　茂則

外科
副部長
太白　健一

ご迷惑をお掛けする事も多々あるかとは存じますが、誠心誠意対応させていただく所存でございます。

今後とも、ご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます

内科・総合診療科
医員
石渡　彰

呼吸器内科
医員
古川原　春菜

腎臓内科
医員
三木　敦史

消化器内科
医員
関谷　万理子

循環器内科
医員
小林　久也

小児科
医員
片岡　貴昭

小児科
医員
廣瀬　優子

外科
医員
﨑尾　亮太郎

形成外科
医員
中川　志保

整形外科
医員
林　志賢

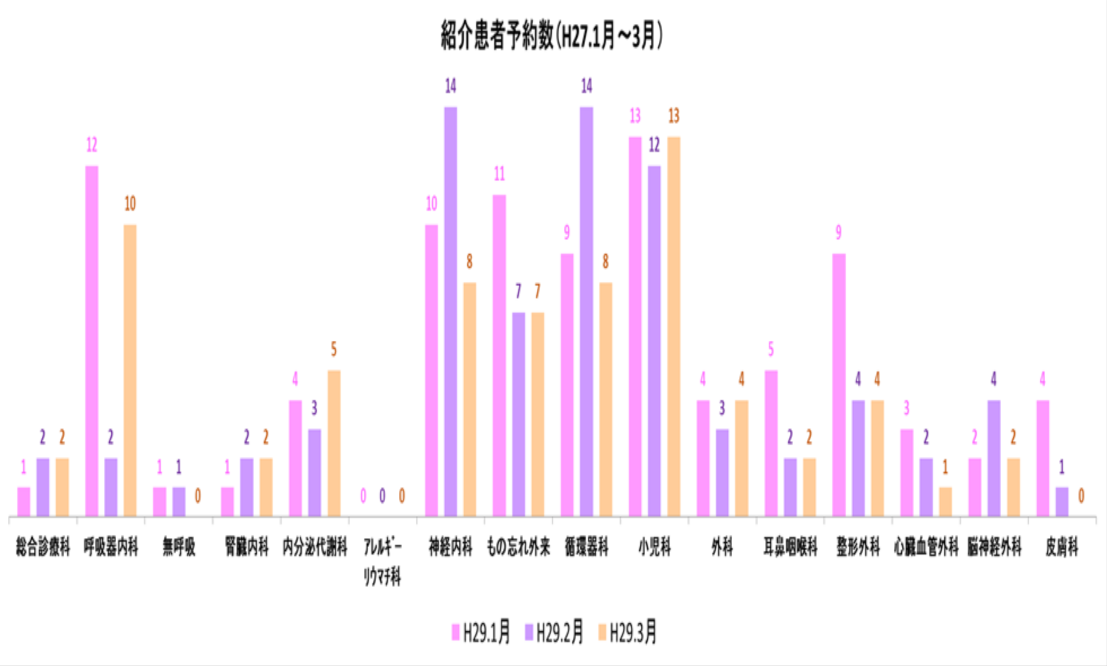
麻酔科
医員
須藤　智幸

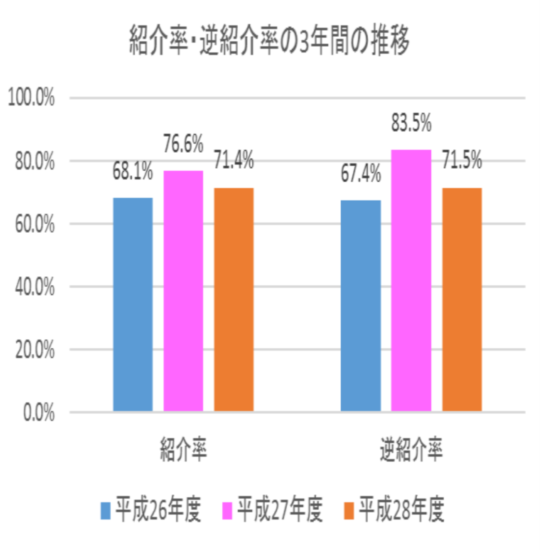
麻酔科
医員
伴　妹子

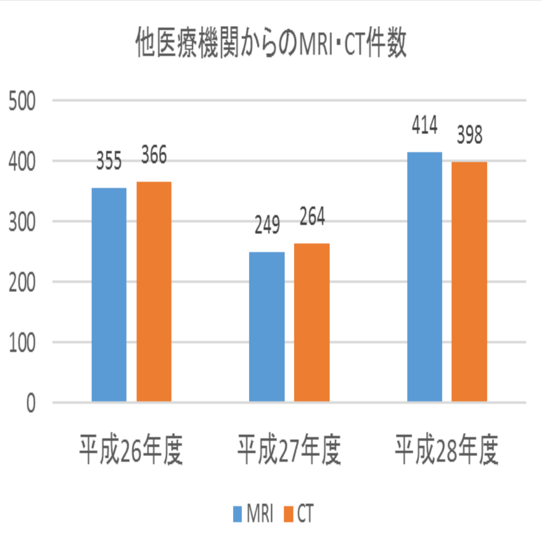
医療連携室からのお知らせ

いつも当院運営にご協力頂きありがとうございます。

紹介患者の予約数（３ヶ月分）と紹介・逆紹介率の３年間の推移、MRI・CTの他医療機関からの依頼件数を集計しグラフ化しました。







施設の共同利用について　～放射線科からのお知らせ～

✧ 5月より、造影剤を使用したCT検査(ダイナミック可)を追加することになりました。

【予約の方法】

放射線科に直接お電話ください。《TEL：0285-36-0261》

受付時間　8：30～17：15

【注意事項】

紹介状にクレアチニンの値の記載をお願いいたします。

6ヵ月以内のクレアチニンの値が正常であることが条件になります。

(目安としてeGFRが45以上)

※ 問診票、同意書に関しましては当院ホームページ(各種書類)からダウンロード可能となっております。

患者支援センター

（受付時間　平日　8:30～17:15）

医療連携室：

０２８５－３６－０２５２

（緊急の患者紹介・転入相談・その他地域連携に関すること）

予約専用ダイヤル：

０２８５－３６－０２５４

（もの忘れ外来・内科・神経内科・循環器内科の受診予約・胃カメラ・心エコー・腹部エコーなどの検査予約）

医療相談室：

０２８５－３６－０２５６

（医療相談・退院調整に関すること・MSWに連絡・その他、外来患者の各種相談に関すること）

ＦＡＸ：

０２８５－３６－０３５２

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。

地方独立行政法人

新小山市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎　0285-36-0200　（代表）

ホームページ

http://hospital-shinoyama.jp/

看護師採用サイト

http://hospital-shinoyama.jp/nurse/

Facebook

https://www.facebook.com/shin.oyama.city.hospital